

【科目名】日常生活活動学		【担当教員】高橋明美、松林義人
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0610-0-1	(メールアドレス) 【高橋】 akemi.t@nur.ac.jp 【松林】 matsubayasi@nur.ac.jp
【開講時期】2 学年前期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)
【単位数】2	【コマ数】15	【高橋】月～木 8:30～17:30 金 13:00～17:30 【松林】9:00～17:00 (水曜日を除く)
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 実技を行うことがあるため、その際は服装に注意すること (受講のルールに関わる情報・予備知識) 予習を行い、講義には積極的に臨むこと		
【講義概要】 (目的) 理学療法の対象となる多様な障害に対する日常生活活動・動作を分析し、適切な理学療法の目的や計画を立案するまでの過程を学修する。また、単なる評価だけではなく、それぞれの障害に即して生じる活動制限を改善するための指導方法の原則の概略を学修することを目的とする。 (方法) 教科書を用い、各評価項目、障害との関連性について講義を行い、それぞれの活動・動作について実技を交えた講義を行う。		
【一般教育目標(GIO)】 日常生活活動 (ADL) とは何かを理解し、適切な評価方法について学ぶ。また、各種疾患にみられる特徴的な活動制限について理解し、適切な ADL 指導の考え方や方法を理解することを目標とする。		
【行動目標(SBO)】 ① 日常生活活動 (ADL) の概念について説明できる ② ADL 評価の目的や評価方法が説明できる ③ バーセルインデックスと FIM の違いについて説明できる ④ 動作観察や動作分析が方法について説明できる ⑤ 基本的な介助方法が説明できる ⑥ 各種疾患の病態や障害を理解し、適切な ADL 指導の方法を説明できる		
【教科書・リザーブドブック】 鶴見隆正，隆島研吾（編）：標準理学療法学，専門分野，日常生活活動学・生活環境学，第 4 版，医学書院，2012		
【参考書】 ①伊藤利之・江藤文夫（編）：新版日常生活活動 (ADL)，評価と支援の実際，医歯薬出版，2010 ②河元岩男・他：日常生活活動学テキスト，改訂第 2 版，南江堂，2014		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 筆記試験により評価する		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポー ト	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		70	10	20	0	0	0	0	100
評 価 指 標	取り込む力・知識	70	10						80
	思考・推論・創造の力			20					20
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法	学修課題(予習・復習)				時間(分)		
1	日常生活活動 (ADL) の総論	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp4-13) を読んでおく こと (復習) 講義の内容をまとめ、疑問点など を整理すること				30		
2	日常生活活動と国際生活分類 (ICF) および ADL 評価	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp14-26. Pp52-58) を 読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ、疑問点など を整理すること				30		
3	ADL 評価 (FIM について)	講義 (松林)	(予習) 教科書 (pp52-79) を読んでおく こと。 (復習) 講義内容をまとめること				30		
4	ADL 評価 (その他)	講義 (松林)	(予習) 教科書 (pp52-79) を読んでおく こと。 (復習) 講義内容をまとめること				30		
5	ADL の運動学的分析 1	講義 (松林)	(予習) 教科書 (pp35-51) を読んでおく こと。 (復習) 講義内容をまとめること				30		
6	ADL の運動学的分析 2	講義 (松林)	(予習) 教科書 (pp35-51) を読んでおく こと。 (復習) 講義内容をまとめること				30		
7	基本動作と介助手技 1	講義・実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp35-51) を読んでおく こと。 (復習) 講義内容をまとめること				30		
8	基本動作と介助手技 2	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp35-51) を読んでおく こと。 (復習) 講義内容をまとめること				30		
9	障害別日常生活活動訓練の実	講義・実習	(予習) 教科書 (pp114-125) を読んでお				60		

平成 26～28 年度入学者用

	際―片麻痺 1―	(松林)	くこと。 (復習) 講義内容をまとめること	
10	障害別日常生活活動訓練の実際―片麻痺 2―	実習 (松林)	(予習) 教科書 (pp114-125) を読んでおくこと。 (復習) 講義内容をまとめること	60
11	障害別日常生活活動訓練の実際―脊髄損傷―	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp126-141) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ、疑問点などを整理すること	30
12	障害別日常生活活動訓練の実際―切断―	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp168-177) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ、疑問点などを整理すること	30
13	障害別日常生活活動訓練の実際―関節リウマチ―	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp153-160) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ、疑問点などを整理すること	30
14	障害別日常生活活動訓練の実際―パーキンソン病―	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp192-198) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ、疑問点などを整理すること	30
15	障害別日常生活活動訓練の実際―脊髄小脳変性症、筋委縮性側索硬化症―	講義 (高橋)	(予習) 教科書 (pp198-207) を読んでおくこと (復習) 講義の内容をまとめ、疑問点などを整理すること	30
試験				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。